

2020年2月7日

報道関係者各位

広島山陽学園山陽高等学校

ICT を活用し遠隔授業でインドネシアの高校と交流

日本とインドネシアの教室を中継しリアルタイムで異文化交流

貴社におかれましては益々ご発展のこととお慶び申し上げます。

さて、2月10日に山陽高等学校とインドネシア・プロボリング国立第二高等学校との間でICTを活用した遠隔授業を実施いたしますので、お知らせいたします。

今回の授業を企画したのは山陽高校の梶本秀樹（40）教諭。梶本教諭は2017年、スリランカで行われたJICA（国際協力機構）教員研修プログラムに参加。その際、同じ研修に岡山から参加していた井本亜希教諭と国際教育の重要性で意気投合し、その後も連絡を取り合ってきました。

この度、井本教諭が日本語パートナーズ（国際交流基金アジアセンター）としてインドネシア・プロボリング国立第二高等学校の日本語サポート教員となったことから、ICTを活用した日本とインドネシアの高校生による同時交流授業を計画、直接高校生同士がやり取りすることを通じて宗教や文化の違いを含め国際理解の深化を図ることとなりました。特に普段、日本の高校生にとって接点の少ないイスラム圏の高校生とのリアルタイムでの交流は意義深いものになると考えております。

山陽高校でもICT化を推進しており、全てのホームルーム教室にプロジェクターと電子黒板を設置。今回は会議用アプリZoomを利用して同時交流授業を行います。

つきましては、ぜひとも取材していただければと思います。よろしくお願いいたします。

実施日時 2月10日（月）9:55～11:35

場 所 山陽高等学校本館2階 選択教室1

対象クラス 山陽高校普通科2年A組29名

プロボリング国立第二高等学校日本語語学クラス 22名

広島市西区観音新町四丁目12-5

広島山陽学園山陽高等学校

担当窓口 梶本秀樹（かじもとひでき）電話 082-232-9156